

委員会会議録

(社)滋賀県トラック協会

会議名	平成22年度 第2回「トラックの日」の事業実行委員会
開催日時	平成22年5月13日(木) 13:35~15:45
開催場所	滋賀県トラック総合会館 3F「会議室」
出席者	委員予定者16名、会長予定者、事務局6名

協議内容

定刻より5分遅れて開会。開会にあたり岡田次期会長予定者から挨拶があり、続いて事務局から資料確認があった後、岡田次期会長予定者が議事進行を行った。

(1) エコ・セーフティドライブコンテストについて

外村部会長から先日、現地、クレフィール湖東で行われたエコ・セーフティドライブコンテストの打合せ会議の内容について概略以下により報告があった。

- ・コンテストの実況中継は今年の司会者(奥田氏)と役員でコース内の建物内で行う。
- ・場を盛り上げるためにもコンテスト出場会社からの応援をお願いしたい。
- ・低公害車及びエコタイヤの展示を行い、その場所で昨年と同様に飲み物のサービスを行う。

この報告に対し、田中副会長から、このコンテストはプロ中のプロを選ぶものではなく業界をPRしたりドライバーのレベルアップを目指すものではないのか。実況中継も和気藹々で行うのではなく肅々と進めた方が良い。

びわ湖放送以外にも地元開催地域のメディアである東近江ケーブルネットワーク等に働きかけなければならない、との発言があった。

この意見に対し、外村部会長は東近江ケーブルネットワークには記録用DVD(ナレーションなし)を作成するように話をしている。肅々というご意見であったが、選手は会社を代表して出場してもらっているなのでその辺も考えて検討していきたい。

続いて岡田次期会長予定者から、コンテストの実況中継については、司会者や協会からの出演者と打合せを行う必要がある。また、マスコミ対策については、このエコ・セーフティドライブコンテストだけでなく「トラックの日」の10月まで一連のPRを考えるとびわ湖放送にも依頼する必要がある。なお、実況中継については、協会からは前年度委員の川下氏をお願いしたい、との発言があった。

ここで岡田会長予定者からエコ・セーフティドライブコンテスト開催に係る資料について説明を求め、実施要領等について事務局より説明を行った。

昨年、エコ走行で4 t車部門出場者全員の成績が良くなかった。これはクレフィール湖東の4 t車はターボ車ではなくノーマルエンジンであり、業界では4 t車の多くはターボエンジン搭載車両を使っているため、エンジンを噴かしてしまっていたのが原因であることから、4 t車部門については車両に慣れるためにも、選手はゴール地点で乗車しスタート地点の約150mを試走する。

また、昨年は成績発表を行ったが、当日の成績発表は止めてほしいとの声もあったことから、今年度は成績発表を行わない。但し、講評は行うことを事務局から述べた。

続いて委員から、学科試験の答えを閉会式で公表出来ないか。又閉会式で公表しないで答えは張り出してはどうか、との意見があったが、学科問題は持って帰ることが出来ないので、閉会式の講評時に多くの人が間違っている箇所について解説を行ってもらう方向で進めることとなった。

委員から当日のスタッフについて次の意見が出された。

- ・ 昨年、忙しくしている役員もいれば、仕事の内容がよくわからずウロウロしている役員もいたので、今年はスタッフの事前打合せをしっかりと行った方が良い。
- ・ 役員はこれだけの人数（60名）も必要なのか？配属をしっかりと行えば対応出来るのではないか。
- ・ 昨年を見ていると、コース内は忙しくしており多くの役員が必要である。

・・・等の意見があったが、配属については、クレフィール湖東から参加人数等を参考に指定されるのでこれを見て対応する必要がある。今年度はこの60名で行いたい、との発言が外村部会長からあり、了承された。

続いて先程、外村部会長より話のあった地元の東近江ケーブルネットワークに記録用DVDを依頼している件について、委員からやはり外向きを考えると昨年のようにびわ湖放送でナレーション等も入れしっかりしたDVDを作成する必要がある。結果を行政等にも見てもらい評価を得たい。

昨年のDVDを欲しいと言われる県もあるし、びわ湖放送でDVDを作成すればテレビ放映もしてもらえる。

これらの意見に対し、外村部会長からは毎年同じDVDを作るなら今年は記録用としてのDVDで良いのではないかと、との発言があった。

続いて同様の意見があり、対外用として昨年作成したDVDをアレンジして作り直しではどうか、との発言があったが、岡田次期会長予定者よりこのDVD作成については予算もっており、昨年よりもより良いDVDを作成し対外的にもPRしていきたい、と述べられた。

続いて田中副会長から昨年度の実行委員会で作成したDVDについて効果はどうであったのか精査していない。

岡田次期会長予定者も広報活動はラジオよりもテレビを活用したいという考えがある。先程も発言があったが、このエコ・セーフティドライブコンテストの当日から10月のぐるっと・びわこ・クリーンアップまでが「トラックの日」をPRする広報の一連の流れである。びわ湖放送やこのコンテストの開催地である地元の東近江ケーブルネットワークだけでなくFMひがしおうみにも働きかけPRしていきたい、との発言があった。

委員より近畿のトラック協会にも当日見に来てもらってはどうか、との意見があり、検討されたところ案内を出すこととなった。

また、対外的なPRも兼ね地元東近江市長にも出席依頼をすることとなった。

その他、滋賀経済産業協会などの荷主団体にも我々の活動を理解してもらうためにも見に来てもらってはどうか、との意見があったが、岡田次期会長予定者からこのコンテストが終わってからのPRでも良いのではないかと、との発言があった。

続いて広報部会の松田副部会長から、現在、協会HPにこのエコ・セーフティドライブコンテストの参加募集の映像が流れているが、今年度、作成するDVDの概略をHPから見られるようにしてはどうか。

考え方としては、新聞広告にこのコンテストのことを掲載し、そこに協会HPアドレスやQRコードを入れて、HPを見てもらう。そして先程言ったように作成したDVDの概略をHPで流せば一般の人や荷主にも見てもらえるのではないかと。

また、現在、人材開発委員会で人材確保についてDVDを作成したり携帯端末を利用してPRを行っているが、この活用も併せて考えていく必要がある、と述べられた。

(2) 広報について

中西部会長から出来るだけお金をかけないで広報活動を行いたい。4・5月の支部定例会や支部総会の場で各支部長からエコ・セーフティドライブコンテストの参加募集についてPRして頂いた。

今月26日の通常総会でもPR用として本日、写真やマイスター認定書等を4F大ホール入口付近に展示を行ったので、後で見てください。

対外的な広報については先程意見がいろいろ出たが、本日は事業部会の打合せが行われていないので検討できていない。各部会とのすり合わせも必要である、との発言があった。

続いて岡田次期会長から対外的な広報については、業界紙はもちろんのこと先程から話が出ているとおり昨年同様、びわ湖放送でDVDを作成し荷主に対しては追ってPRしていきたい、と述べられた。

また中西部会長から資料2の協会HP(トップページ)でエコ・セーフティドライブコンテストの募集を行っており、今年度のエコ・セーフティドライブコンテスト終了後、最新の映像に差し替え引続きPRしていきたい、と述べられた。

続いて委員から申込者が締切日までに定員を超えた場合どうするのか?要領にはそのことについては触れていないし、いつ定員になったかわからないのではないかと、との意見があり、検討されたところ各部門、定員となった時点で締め切ることとなった。

岡田次期会長予定者から出来るだけ多くの事業所に参加してもらうために1事業所2名としたいので、現在3名の申込みがある事業所については1名ご遠慮頂きたい、と述べられた。

しかし、1事業所2名の申込みとはどこにも書いていない、との委員からの発言があり、対応を考えることとなった。

また各支部での参加要請については、まだ締切りも来ていないので現在、大幅に目標数と開きがある支部についてはその支部内でPRすることになった。

伊地智次期副会長から先程もあった荷主へのPRについては昨年と同様にDVDを作成し物流セミナーで荷主にも見てもらいたい、との発言があった。

最後に中西部会長から今後、各部会長とすりあわせを行いうまく広報活動を進めていきたいので協力願いたい、と述べられた。

(3) ぐるっと・びわこ・クリーンアップについて

下司部会長から本日、部会の打合せがなかったので検討が出来ていないが、開催日程・各支部の担当エリア・セレモニーの問題について次回実行委員会の部会場で検討していきたい、と述べられた。

続いて岡田次期会長予定者から開催日程をこの場で決めたいとの発言があり、検討されたところ10月17日(日)とすることになり、予備日については次回実行委員会で検討することとなった。

その他、岡田次期会長予定者から各委員に意見を求められたところ次の発言があった。

- ・ 最近、運送事業者による大きな事故が新聞に掲載されているので、我々は安全と環境について様々な事業や対策を講じている旨を荷主や一般の人にアピールしていきたい。
- ・ ゴミを捨てることも大事であるが、ゴミを捨てないということも大事であるので、今後、ゴミを捨てないこともPRしていったらどうか。
- ・ エコ・セーフティドライブコンテストのDVD作成については先程も意見があったが、費用対効果も考え今年のDVDを編集するのも良いことであると思う。
- ・ 5月の大型連休中、又その前後に大きな事故がたくさんあった。使用者責任も問われる中、いくら良い事業を行っても消されてしまう。事業主として又業界として様々な取り組みが必要となってきた。

続いて岡田次期会長予定者より事業ありきの事業であってはならない。しっかりとした目標を持ち内容を検討していく必要がある。「トラックの日」の事業を行い業界の地位向上を計っていきたい。又これらの事業を浸透させ安全・環境に繋げていきたいので皆さんのご協力をお願いしたいと、述べられた。

最後に、岡田次期会長予定者からこの通常総会をもって退任する事務局大塚参事に対し発言を求められ、次の意見を述べた。

- ・ 「トラックの日」の事業は部外に発信するものであるが、どうしても我々が検討し事業を行うのでトラック業界から見た事業になりがちである。

例えば、先日、人材開発委員会で作成したDVDは入札制で業者を指名して製作したものであるが、このDVDは県内外からの評判も良い。その業者は全くトラック業界を知らない事業者であるので本当の意味で一般の人の目から見て作られたものである。今後も特に対外的な事業は一般の人の視点で考え行って頂きたい。

次回実行委員会

日 時 平成22年6月7日(月) 13時00分～

場 所 滋賀県トラック総合会館